

1-2. 理研の概要

常勤職員総数: 3,311人 (H19.4.1現在)

女性事務 (267人)
(研究室秘書含)

男性事務 (310人)

女性技術者
(572人)

男性技術者
(216人)

女性PI (24人)

女性研究者
(310人)

男性PI (300人)

男性研究者
(1,312人)

女性が4割
弱!
(1,173人)

◎研究系職員数: 2,734人
(PI + 研究者 + 技術者)

◇うち女性: 906人 (33.1%)

◎PI数: 334人 (17.2%)

◇うち女性: 24人 (7.2%)

* PI=Principal Investigator
指導的地位にあり研究室を主宰する者

◇個別支援コーディネートとは？（平成18年6月～）

○対象：妊娠・出産・育児・介護等により、仕事の継続に支障のある理研で働く全ての人

○ひとりひとりに合った適切な支援を全体の施策に反映

◇相談事例：

「保育所の空きがなく、子供の預け先がありません。
在宅勤務ができればよいのですが。」

「育児中で研究時間が十分に確保できません。
週2, 3日でも実験補助者を雇用できると
よいのですが。」

◇「男女共同参画だより」

回覧

男女共同参画だより 2007年9月号 No. 30

発行：人事部

「ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」

日本ロレアルさんが創設されたこの賞の受賞者は、第1回：高峰愛子さん（DR1 山崎原子物理研究室・基礎科学特別研究員）、第2回：黒田有希子さん（BS1 発生神経生物学研究チーム・研究員）と、2年連続で研究から出ています。

○高峰さんの研究内容：「高周波イオンガイドの開発 — 不安定原子核の陽子・中性子分布測定に向けて」

○黒田さんの研究内容：「破骨細胞分化におけるIP₃受容体の役割と新規破骨細胞分化のメカニズムの解明」

対象者は、物質科学、生命科学の分野で、博士課程（後期課程）または、博士課程に進学する予定の女性科学者で、今年度はより多くの若手女性科学者を支援すべく、受賞枠を各分野2名ずつに拡大しました。受賞者には、それぞれ賞状と奨励金100万円が贈られます。なお、今回、特例として物質科学分野では、3名の授賞となりました。

（日本ロレアルHP：<http://www.loreal.co.jp/ja/jp/index.aspx>より）



第1回受賞者：
高峰愛子さん



第2回受賞者：
黒田有希子さん



— リレーインタビュー —

第17走者は、知的財産戦略センター VCAD システム研究プログラム VCAD モテリングチーム チームリーダー・加瀬 究さんです。

○ご自身のワークライフバランスについて教えてください。

加瀬：結婚してから掃除や洗濯はしていましたが、長女の育児は妻に任せざりでした。自分の母親は専業主婦だったせいか、そういうものだと思っていましたが、次女が生まれてからは、家庭での父親の地位向上のためと思い家事に育児に関わっています。



◇「男女共同参画推進大賞」

「第1回理研男女共同参画推進大賞」授賞式を開催

理研は2006年6月に男女共同参画推進委員会を設け、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいます。『個別支援コーディネート』の実施の試みや、『男女共同参画だより』の定期的な発行に加え、今回、『第1回理研男女共同参画推進大賞』を選出し、3月30日に授賞式を行いました。大賞に選ばれたのは、2003年度に託児所の設立を実現させた、研究員会議の歴代幹事のメンバーです。受賞メンバーは、2000

年度から理研と光キャンパス内の託児所「りけんキッズわこう」の設立に向けて研究所に働き掛け、粘り強い交渉を続けるとともに、公的機関での実施例の調査や運営業者との交渉までも行うなど、一連の取り組みが評価されました。

この賞を設けたことで「男女共同参画とは？」を考えるきっかけになった」などの意見も聞かれ、職員意識向上にも貢献しました。

平成18年度研究員会議幹事会代表幹事

松尾一郎 専任研究員（中央研究所 伊藤細胞制御化学研究室）

今回の受賞は歴代の幹事の方々が頑張ってこられた結果で、幹事会の力が形になった一つの象徴だと思います。理研にはさまざまな雇用形態があり、キャリアに対する考え方自体も十人十色で大変な開きがあります。従って、理研のスタイルに

「あたりまえ」の見直し！

◇「男女共同参画シンポジウム」

理化学研究所

男女共同参画推進委員会

「第1回 理研男女共同参画シンポジウム」

（第4回 男女共同参画推進委員会 公開委員会）

理研初の「男女共同参画シンポジウム」を開催いたします。理研の男女共同参画への取り組みや今後の方針説明のほか、15名の男女共同参画推進委員から、ご自身の体験談などをご披露いただき、会場のみなさまとのやりとりを交えながらのパネルディスカッション形式で進めてまいります。

年末の忙しい時期ではありますが、手と頭を少し休めて、みなさまの「意識」への刺激になればと思います。ご参加をお待ちしております。



「理研男女共同参画」の
○番目の扉が拓かれる！？

●日時：平成18年12月14日（木）
13:30～15:30

●場所：鈴木梅太郎ホール
（各事業所中継）

●パネリスト：男女共同参画
推進委員（15名）

●コーディネーター：谷（人事部）

●プログラム：○開会宣言 13:30～

○第1部—13:35～14:00

「理研の男女共同参画 これまでとこれから」

○第2部—14:00～15:00

「私の男女共同参画（現在・過去・未来）」

○第3部—15:00～15:20

「理研子育て応援ハンドブック」紹介

「第1回理研男女共同参画推進大賞」授賞式

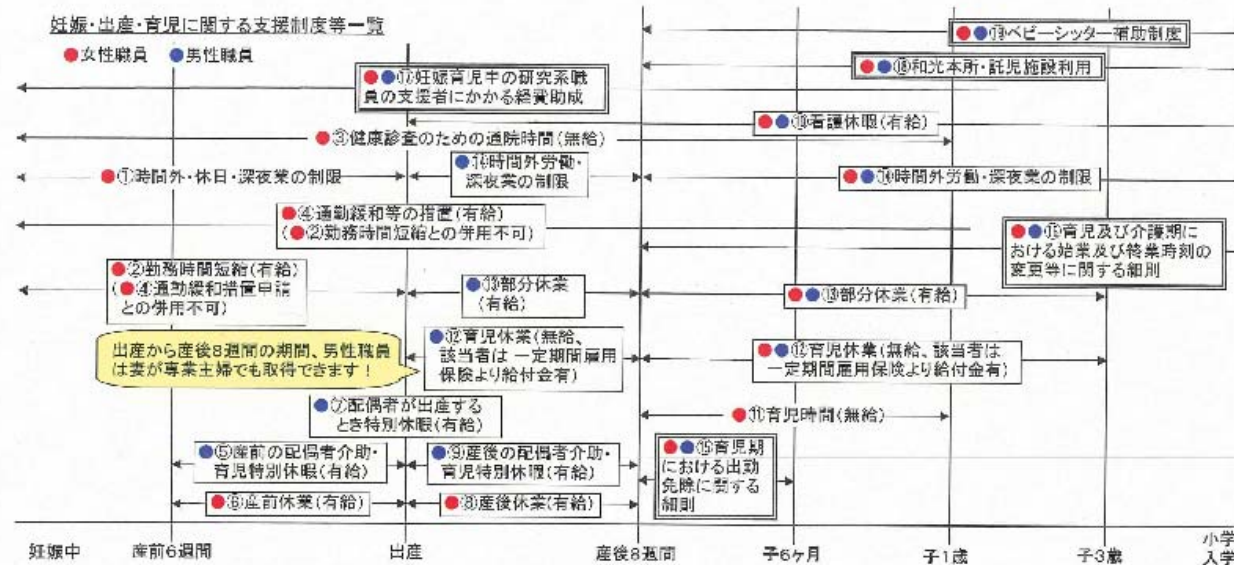
◇「理研子育て応援ハンドブック」

○理研の支援制度一覧

○自治体による支援等の情報

○子育て座談会

仕事も子育ても！



番号	内容	備考
①	妊娠中、時間外・休日・深夜業を命令されないことを請求できます。	推進部又は人事管理課
②	妊娠中、通勤のための交通機関として電車、バスを使用している職員は、所定の勤務時間の始め、または終わりにおいて各1時間の範囲内で勤務時間を短縮することができます。	推進部・推進室経由
③	妊娠中または出産後1年以内に母子健康法の規定による健康診断、保健指導を受けるために、必要な時間を休業できます。	推進部又は人事管理課
④	妊娠中及び出産後の女性職員が母子健康法に基づく健康診査等を受け、医師や助産師よりその症状等に関して指導を受けた場合は当該指導に基づき、通勤緩和、休職の付与、作業の制限、勤務時間短縮、休業等の措置を申請できます。措置内容は http://common.riken.jp/office/jinji/ikujih.html	所長
⑤	⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	推進部・推進室経由
⑥	女性職員(常勤・非常勤とも)出産予定日をきり産前6週間(舊日)を休業できます。(多胎妊娠の場合は14日間)	所長
⑦	産前休業(有給)	推進部・推進室経由
⑧	産後休業(有給)	所長
⑨	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
⑩	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
⑪	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
⑫	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
⑬	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
⑭	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
⑮	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
⑯	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
⑰	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
⑱	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
⑲	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
⑳	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㉑	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㉒	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㉓	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㉔	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㉕	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㉖	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㉗	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㉘	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㉙	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㉚	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㉛	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㉜	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㉝	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㉞	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㉟	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㊱	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㊲	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㊳	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㊴	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㊵	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㊶	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㊷	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㊸	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㊹	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㊺	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㊻	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㊼	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㊽	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長
㊾	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	推進部・推進室経由
㊿	産後の配偶者介護・育児特別休暇(有給)	所長

理研
子育て応援ハンドブック



◇「お父さん応援プログラム」研修(2007年11月)

○講師：
「NPO法人
新座子育てネットワーク」
○参加者：17人

男性の意識啓発！



「お父さん応援プログラム」 参加者募集！

◆日時：
11月28日(水)
15:00~17:00

◆場所：研究本館5階
会議室兼セミナー室
(535, 537 室)

◆対象：
主に未就学児の
子育て中(予定)の男性

◆学習キーワード：父親力、ファミリーリソース、
ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ

◆プログラム概要：
○子育てに関する資源を探る「助っ人マップづくり」
○ワーク・ライフ・バランスを実感するイメージ
ワーク「積み木のワーク」
○「父親の役割」についてのレクチャーや
グループトークなど

◆講師：NPO 法人
新座子育てネットワーク

「忙しい毎日だけれど、子どもとの生活を大切に
子どもと暮らす幸福感や子育ての豊かさに
ワーク・ライフ・バランスについて考えよう」
男女共同参画推進の取組みとして、
「NPO 法人新座子育てネットワーク」さん
ワークショップ形式の研修プログラムを開催

*主に左記の男性を対象としています。男性はお問合せください。
また、管理職の方は、子育て中の男性の現
良い機会ではないでしょうか。

●申込み：
sankaku@riken.jp
人事部・谷 (91-39)
●お切り：
11月26日(月)

「1日25分」

…日本の父親が子育てに費やす時間

<勤務形態に関すること>

「育児期における出勤免除」

保育所に
空きがな
い！

○対象：裁量労働制が適用され、研究所が認める者
（男女不問）

○期間：子が6ヶ月に達するまでを限度

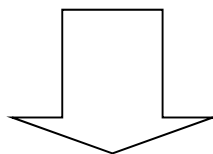
「出産後もスムーズに研究が継続できた。」

「出勤免除期間中に論文執筆、投稿ができた。」

実態に即した研究継続支援



在宅勤務



対象を全職員に拡大、事由不問の「在宅勤務試行案」作成中

<勤務形態に関すること>

「育児及び介護期における
始業及び終業時刻の変更」

学童保育から
帰る時間まで
に帰宅できたら

送りは夫、
迎えは妻

実働時間は
そのまま

○対象：裁量労働制が適用されていない者のうち、
研究所が認める者（男女不問）

（1）小学校4年生までの子を養育する者

（2）**要介護状態にある家族を介護する者** など

○始業・終業時刻を30分単位最大1時間シフト
通常9:00～17:20

→（例）①8:00～16:20 ②8:30～16:50

③9:30～17:50 ④10:00～18:20

<代替要員に関すること>

「妊娠育児中の研究系
職員の支援者にかかる
経費助成」

育児中で
研究時間が減少

産休中も
これだけは
継続したい

○対象：平成18年4月1日以降に生まれた子を持つ者、
妊娠中の者（男女不問）

○支援者雇用の経費を所が助成（上限100万円）

⇒平成20年度は150万円！？

◎平成19年度利用者数：20人
（ほぼ希望者全員に助成）

<保育に関すること>

「理研キッズわこう」(和光キャンパス事業所内託児施設)

- 月極保育、一時保育 ○保育時間:8:30~20:00
- 保育年齢:生後57日~未就学児
- 定員:37名 ○スタッフ:8名

「小学生の一時預かり」

- 受入時間:18:00~20:00
(公立等の学童クラブ終了後)
- 受入対象:小学1年生~4年生
- 定員:5名

「ベビーシッター補助制度」

- 対象:乳幼児~小学3年生
- 補助額:1,500円/日
(年間120枚まで)



<その他>

◇「わかい」(お昼休みの情報交換の場)

- 毎月第3水曜日:12:10~13:00
- 自由参加(理研で働く全ての人)

◇「産休育休中の職員への情報提供、相談受付」

- 産前休業前の連絡(相談窓口の周知)
- 産休育休中の情報提供(男女共同参画だよりの送付)
- 復職後の両立相談受付 等

2. 産休育休中の問合せ等受け付け

- 制度に関する問合せや、復帰後に不安なことなどのご相談をお受けします。
- どこに問い合わせればよいかわからないことでも、とりあえずご連絡いただければ適切な部署をご紹介します。

3. 「子育て相談」受け付け(試行)

- 妊娠期から子育て全般に関する相談をお受けします。
- 担当者は、NPO 法人日本子育てアドバイザー協会「子育てアドバイザー養成講座」中級を終了しています。

連絡先メール: sankaku@riken.jp

電話: 048 (462) 6254 (直通)

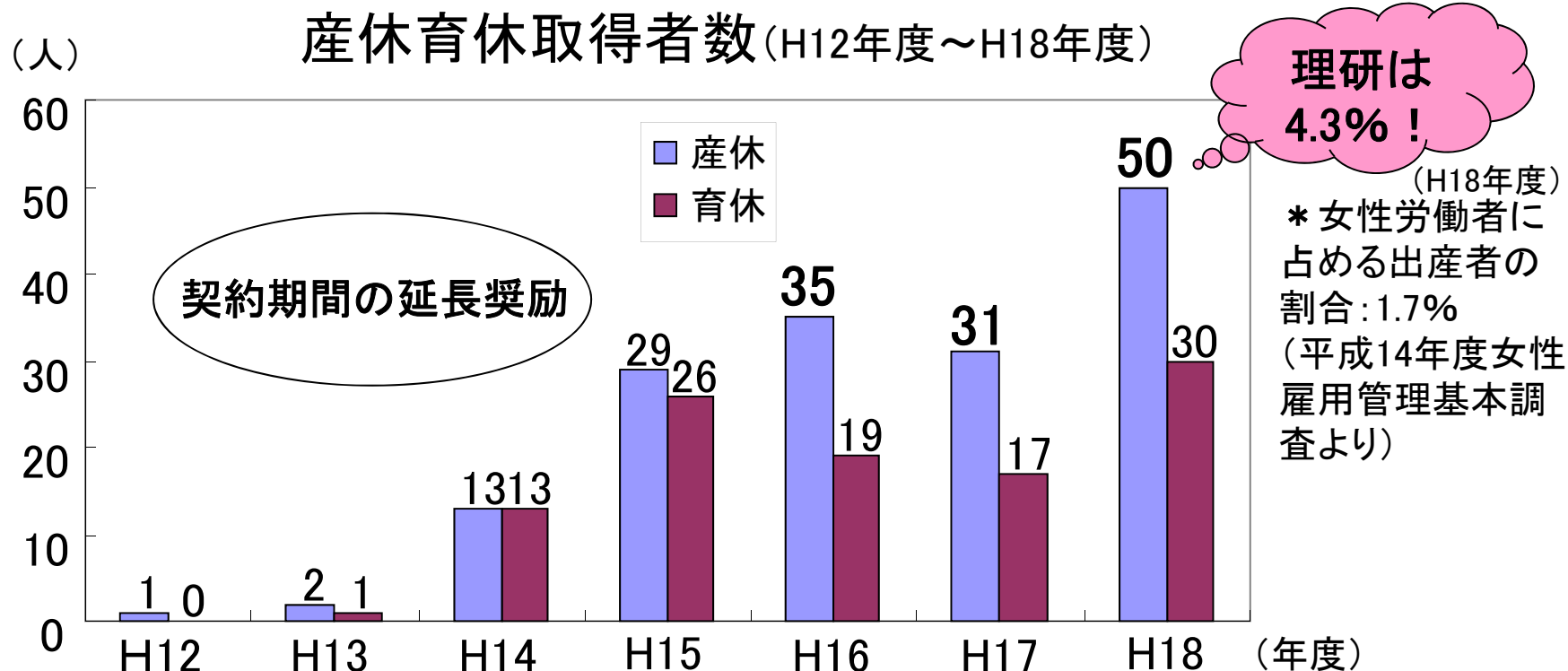
FAX: 048 (462) 6140 (直通)

「子育てアドバイザー」
子育て相談受付(試行
中)



4. 仕事と家庭を両立する職員たち

◇過去3年間(H16～H18年度) **平均39人**が出産



◇男性の育児休業取得者・・・**4人**(平成19年12月末現在)

◇1年間に理研で誕生した赤ちゃん・・・**136.3人**

(平成16年8月から平成19年7月までの3年間の平均・人事部調べ)

5. 支援における課題と取組み予定

1. 「脱子育て支援」・・・子育て中職員の「孤立」、「増長」
他職員の「不公平感」

⇒全職員を対象としたWLB支援

2. 「全事業所展開」・・・取組みの周知徹底、事業所ごとに
異なる問題への対応、アイデア抽出

⇒全事業所に作業部会設置

3. 「粘土層対策」・・・何を言っても理解しない障壁層、
(WLB第一人者 渥美 由喜氏用語) 抵抗勢力

⇒闘わず、妥協点を見出し共存

◇「くるみんマークの壁」、「理研の使命と支援のあり方」も
悩ましいところ・・・。